



5月下旬頃、株元から茎が倒れたら収穫の合図です。畑の8割程度が倒れてから1週間経った晴れた日に収穫するのが理想です。抜き取ったらすぐに根を切り、半日ほどうねに置いて乾かします。その後4〜5玉の茎をまとめてひとせぐへくり、風通しの良い日陰に吊るして保管します。

## 収穫

暖かくなったらマルチをはいだ方が雨水を吸いやすくなって生育がよくなります。

## 追肥・土寄せ

寒さで根が上がっている場合は株元を踏みつけるように強く押さえましょう。

追肥は3月上旬にします。遅くとも3月末までとし、それ以降の追肥はタマネギの貯蔵性が悪くなるのでやらないようにします。マルチをしない場合は追肥と一緒に土寄せもおこないます。マルチがある場合は穴から施肥しますが、マルチの下に手を差し入れるようにして、できるだけ株元から離れた場所にはらまくようにしましょう。

## グリーンファーム店取扱い苗の品種紹介



### 泉州黄

日本のタマネギ栽培の基となった代表品種。10月上旬頃まで保存できる。性質が強健なので作りやすい上に多収で、柔らかくて甘く食味が良いため、100年以上の人気を誇る。新玉ねぎとして生で食べても美味。

### ネオアース

翌年の3月までの貯蔵が可能で、近年大人気の品種。皮がよく締まっていてかびにくく芽が出にくい。肉質が硬く辛みが強いので生食には向かないが、加熱すると甘みが出て美味。

### ラッキー

保存が効く品種はたいへい辛い傾向にあるが、この品種は翌年の1月まで保存が可能なのに、辛みが少なく甘みがあり生でもおいしい。乾燥や病気に強く、作りやすい。大玉で豊産。

### O.K黄

分球やトウ立ちがしにくい品種。葉が横に広がりにくいので密植ができ、収量を上げることができる。12月末頃まで保存可能。

### ケルたま

動脈硬化予防やコレステロール値の低下などに関わるとされるケルセチンというポリフェノールは、タマネギの皮に多く含まれるといわれている。この品種は食用とする部分にもケルセチンを多く含む機能性野菜。辛みが強いが加熱すると甘い。翌年の3月まで保存できる。

### 甲高ルージュ

赤玉ねぎは数カ月しか保存が効かないのが普通だが、12月末までという非常に長い保存期間を可能にした品種。生食用で辛みが少ない。

※店によって取扱いのない品種もあります。詳しくは各店にお問い合わせください。

## おすすめ資材

### 「ネキリベイト」(600g) 「ガードベイトA」(2kg)

どちらも成分が同じ殺虫剤です。植え付け後のタマネギやハクサイ、キャベツなどの根を切ってしまうネキリムシを誘い出し、粒剤を食べさせて退治します。使い方は株元にばらまくだけで簡単。各グリーンファーム店で好評発売中です。

※10月からの増税の影響により商品の価格が変わります。商品の価格につきましては、各グリーンファーム店にお問い合わせください。



ほうさくClub!に関するお問い合わせは、各グリーンファーム店まで

- ◎中央店 ☎29-8177
- ◎さなだ店 ☎72-8072
- ◎しおだ店 ☎39-8118
- ◎東部店 ☎62-0665
- ◎まるこ店 ☎42-2977
- ◎西部店 ☎22-4091
- ◎よだくほ南部店 ☎85-2400

# ほうさくClub!

第207回  
今月は

## 「タマネギ」に挑戦!

★これがタマネギのスケジュールだよ。

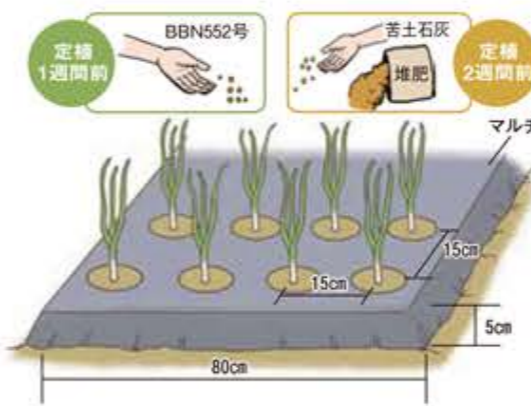
Calendar

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
									定植		
					収穫						



- 施肥基準 (1㎡あたり一例)
- 苦土石灰 150g
- BBN552号 60g
- 堆肥 3kg
- BB追肥N30号 30g×1回

⚠ 文中の肥料等は一例です。地区によっては違う種類で対応している場合もあります。不明な点は、営農技術員にお問い合わせください。

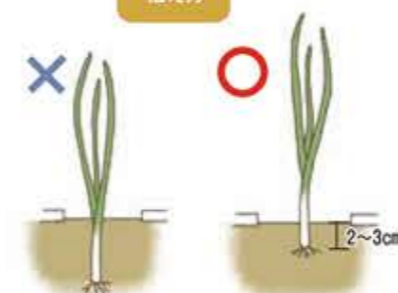


定植の2週間前に苦土石灰と堆肥を、1週間前に化成肥料をまいてよく耕しておきます。酸性土壌を嫌うので苦土石灰は必ず施します。うねは幅80cm、高さ5cm程度に作ります。株間15cmのタマネギ用マルチを張ると地温が上がる効果があり、生育がよくなる効果が見込めます。

## 畑の準備

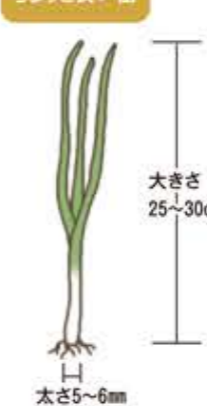
西アジア原産とされ、6千年も前から栽培されていたといわれています。日本で栽培が始まったのは明治時代で、アメリカから北海道や大阪に伝わり、その後大正時代にはフランスから愛知に導入されました。普及したのは意外な理由で、当時流行したコレラに効くと信じられたから。薬ではないので効かないのですが、これをきっかけに全国にタマネギが広がりました。

## 植え方



緑色の部分まで土をかぶせると、苗の育成が悪くなるので注意。

## ちょうど良い苗



マルチの穴に本すつ、深さ2〜3cmになるように植えます。緑色の部分まで埋めないようにしましょう。深く植えると腐ったり生育が悪くなったり、縦長のタマネギになります。植えたら、苗の株元を押さえておきましょう。

## 苗選び・定植

タマネギ栽培で最も大事といっても過言ではないのが、ちょうどいい苗を植えることです。苗が大きすぎると生育が良くなくて、収穫時に分球したり収穫直前にトウが立つて食べられなくなったりします。小さすぎると冬の間に枯れてしまいます。ちょうどいい苗の太さは約5〜6mm、丈は25〜30cmです。